

社会貢献の歴史とこれからの事業展開

貢献領域拡大の軌跡

マブチモーターは、小型直流モーターに特化した事業を展開し、小型・軽量・高効率化に関する技術的な強みを有しています。当社は、玩具・模型用途から事業を始め、1960年代より実用向けモーターに、1970年代から自動車電装機器用モーターに参入しました。時代と社会の変化に応じて、標準化戦略によってもたらされる高い品質、圧倒的なコスト競争力及び安定した供給力を強みに、当社の貢献領域を拡大させ、用途市場別の売上構成比も変化してきました。

1950年代 玩具業界に革命をもたらしたモーター

価格が重視される日本の玩具市場でしたが、画期的な動力であるモーターを得たことにより電動玩具の開発が急速に進み、ついには高級玩具の代名詞となって海外への輸出量も急増しました。こうして当社のモーターは日本玩具業界、ひいては世界の玩具生産と子どもの楽しみに大きな革命をもたらしました。



Fタイプモーター

1960年 実用向けモーターへの進出

玩具用途への依存から脱却するため、当時生産量が急増し始めたテープレコーダー用モーターの開発に着手。性能・価格ともに高く評価されるモーターの開発に成功しました。実用向けモーターへの進出により、従来以上に高度な製品開発や生産体制、品質保証に対応できるようになりました。



テープレコーダー用モーター

1975年 音響・映像機器用モーターの市場を席巻

モーターの回転速度を一定に保つ「電子ガバナー」という装置をつけた「電子ガバナーモーター」を発売し、性能・価格面で高く評価され、音響・映像機器市場にマブチモーターの名を知らしめることになりました。



電子ガバナーモーター

1989年 自動車電装機器用途の販売拡大

第1世代のパワーウィンドウ用モーターを発売以来、次々と小型・軽量化の進んだ新世代製品を開発・販売し、パワーウィンドウ用途への本格参入を果たしました。小型・軽量・高効率化を実現する技術力とともに、標準化戦略によるリーズナブルな価格も評価され、パワーシート用をはじめ自動車電装機器用途の販売が大きく成長しました。



パワーウィンドウ用モーター

1981年 用途の多様化が進展

音響・映像機器が売上の34%を占め、次いで家電・工具が29%、玩具・模型は27%となり、用途の多様化が格段に進みました。自動車電装機器用途については、1975年にミラー用、1981年にドアロック用モーターに参入し、現在ではミラー用で8割以上、ドアロック用で7割以上の世界シェアを有しています。



ミラー用モーター

用途別モーター販売金額の推移

- 玩具・模型
- 精密・事務機器
- 自動車電装機器
- 実用向け
- 音響・映像機器
- ライフ・インダストリー機器
- 家電・工具・その他
- 家電・工具・玩具他

※1981～1998年まで玩具模型・音響映像・精密事務・自動車電装・家電工具の5分野別開示。
1999年から2013年まで、玩具模型向けを家電工具向けへ統合し、用途順を変更。
2014年からライフ・インダストリー機器向けと自動車電装向けの2分野で開示。

1954 1955 1956 1957 1958 1959 1960

1970

1980

1990

2000

2010

2020

2023

3つのM領域への取り組み

持続的な成長と、より付加価値の高い製品の提供による事業ポートフォリオの進化を実現するため、当社製品の小型・軽量・高効率といった特長や、リーズナブルな価格と安定した供給力といった強みを活かせる領域として、電動化によるCO₂排出量削減や人手不足の解消に貢献する「Mobility (モビリティ)」、「Machinery (マシーナリー)」、また、人々の健康に貢献する「Medical (メディカル)」を3つのM領域として定義し、成長分野としてその取り組みを加速させています。従来のブラシ付モーターによる用途の拡大に加え、ユニット対応を含むソリューション提案や各用途に適したブラシレスモーターの開発と販売を推進しています。

Mobility モビリティ

モビリティ領域では、AGV (無人搬送車)、階段昇降機、アシスト自転車やシニアカー等の、広く普及している小型モビリティ向けに当社の移動体用モーターの販売を拡大します。



Machinery マシーナリー

マシーナリー領域では、生産現場において、当社モーターを交流電源で動作させるコントローラーを導入することでファクトリー・オートメーション向けの販売を拡大します。また、産業用パワーツールに、マブチエレクトロマグの超高回転モーターを拡販します。さらに、当社の移動体用ユニットの防水性を活かし、農機具や芝刈り機用等の販売も拡大していきます。



Medical メディカル

メディカル領域では、マブチオーケンの共同開発による小型ポンプユニット製品や、マブチエレクトロマグとの共同開発による人工呼吸器用モーターの新製品開発及び拡販を進めます。また、グループ会社と販路を双方に活用し、外科手術向けパワーツール用モーターの拡販も推進します。



2023年
売上高
1,786億円